

西中図書館だより



No.4 令和3年 7月 2日(金) 尾張旭市立西中学校

夏休み特別貸出・1人4冊まで

期末テストも終わり、もうすぐ夏休みですね。学校の授業もストップし、自分で使える時間も増える夏休み、本との出会いのチャンスです。「ジャケ買い」という言葉を聞いたことがありますか？本の表紙や帯などを見て、直感的に本を買うことです。本の表紙は、見る人の印象に残るため、手に取ってもらうためにさまざまな工夫がされています。図書館や書店で、ぜひ気になる表紙の本を手に取ってみてください。もしかしたら（「はずれだ…！」と思うこともあるかもしれませんが）それが読書感想文を書く本になるかもしれないし、人生に影響を与える本になるかもしれません。



さて、夏休みの時間に西中図書館の本もぜひ活用してほしいと思います。そこで、今年度も夏休み前は貸し出し冊数を増やします！普段「1人2冊まで」となっている本の貸し出しを、今年度は「夏休み中は1人4冊まで」にすることにしました。特別貸出は 7/13(火)、14(水)、16(金)の3日間の開館日です。夏休み中にゆっくりと読み、9月の開館日で返却してください。



西中図書館は、みんなの夏休みの読書を応援しています。

7月の開館予定と図書委員の当番

月	火	水	木	金
			1 ×	2 昼放課○ 3C
5 昼放課○ 3E ※臨時開館	6 ×	7 ×	8 ×	9 ×
	←			→ 三者面談
12 ×	13 昼放課○ 3D ※特別貸出 4冊まで貸出可	14 昼放課○ 3F ※特別貸出 4冊まで貸出可	15 ×	16 昼放課○ 2A ※特別貸出 4冊まで貸出可

7/5(月)までに借りた本は、1学期中に返却してください。

※裏面、読書感想文特集です。また、7月は館内に「読書感想文にお薦め本」コーナーもつくります。ぜひ見に来てください。

読書感想文、こう読もう！こう書こう！

「読書感想文ってどう書いたらいいの？」と思う人、いるでしょうか。基本的なものを下に載せます。よければ参考にしてください。もちろん、国語の授業で聞いていることがあれば、それに従って書きましょう。



- まず何より読書感想文は「一冊の本との出会いにより、自分の考えや行動がどう変わったか」を文章で書くものです。
- 「読書感想文は生活作文」とも言われます。本の内容だけでなく、例えば日記のように、自分の体験や考えをたくさん書きましょう。
- あらすじの紹介だけは×、「●●したのはよかった。▲▲なのは残念だった。」等、だらだらと1場面ごとにひとこと感想を列挙しているのも面白くないですね。
- 本を読みながら、印象に残ったページに付箋を貼るのもよいでしょう。
- 基本的な型ですが…①「その本や著者の紹介」、②「その本と出会ったきっかけや決めた理由（必要に応じてあらすじの紹介）」、③「印象に残ったこと、改めて気づいたこと」、④「③に対する自分の体験や考え」（③・④を繰り返してもよい）⑤「文章全体のまとめ」という組み立てで文章を書いては。
- 最後に、目を引く題名をつけましょう。「『■■■■』を読んで」は最終手段。

～課題図書紹介～

感想文は自分の好きな本を読んで書けばかまいませんが、コンクールには課題図書があります。今回の中学生の課題図書は以下の本です。（「青少年読書感想文全国コンクール」ホームページより）興味がある人は読んでみてください。西中図書館にもそれぞれ4冊ずつ配架予定です。

「with you（ウィズ・ユー）」 濱野京子 作 くもん出版

母親の介護に携わる「ヤングケアラー」の少女・朱音に恋をした中学生の悠人の物語を通して、「誰かを大切に思うこと」を描く。

「アーニャは、きっと来る」 マイケル・モーパーゴ 作 佐藤見果夢 訳 評論社

第二次世界大戦中のフランスの村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもの亡命を助けることになって……命の尊さをうたいあげる物語。

「牧野富太郎：日本植物学の父」 清水洋美 文 里見和彦 絵 汐文社

学歴はなくても、誰にも負けない情熱がある！ 日本全国の野山を駆け巡り、数多くの新種を発見・命名をした牧野富太郎の人生を描きます。